



# 学校だより

令和元年度 10月号

東京都立町田の丘学園

<http://www.machida-sh.metro.tokyo.jp/>

令和元年 10月 2日 発行

## 「備えあれば憂いなし」

副校長 井上 学

2学期の開始とともに元気な子供たちの声が校舎内に響き渡り、活気が戻ってきました。2学期は、授業にも行事にも集中して取り組むことができる大切な時期です。じっくりと自分の課題に取り組み、確実な力を身に付けていけるよう指導していきたいと考えています。

さて、今年もまた台風による大きな被害が出てしまいました。町田市では特段の被害は出なかったようですが、千葉県では、いまだに電気や水道が繋がらず、つらい生活をされている方も多いようです。情報が行き届かず、被害の実態も正確につかめていない地域もあるようです。少しでも早く元どおりの生活に戻れるよう祈るばかりです。

本校では、この台風に対して、授業の開始時刻を2時間遅らせる対応を取りました。予想以上に電車が動かず、道路も渋滞してしまい、児童・生徒、保護者の皆様に登校の対応に苦勞をお掛けしてしまいました。スクールバス会社や交通機関等と情報を共有しながら安全な登校ができるよう対応しましたが、「大丈夫だろう」ではなく「もしかしたら」の考えで行動することの重要性を改めて感じました。保護者の皆様にはたくさんの御協力をいただき、本当にありがとうございました。

学校では、このような大規模な災害に対応するべく、様々な備えを行っています。9月の総合防災訓練もその一つで、避難訓練、情報伝達訓練、山崎校舎では引取訓練も実施しました。8月には「防災教育講演会」も行いました。実際に災害にあってしまったときの具体的な対応について、教員と保護者の方と一緒に勉強する取組でした。詳細は別項で紹介していますが、簡易トイレや避難スペースをどうやって作るかなど、みんなで色々な考えを出し合って作り上げました。困難な状況の中で意見を出し合い、協力し合うことが災害発生時には大切です。大変有意義な備えの機会となりました。

また、夏季休業日中に児童・生徒と教職員のための備蓄食の入替えと補充が完了しました。発電機やコンロ、鍋等の物品の確認も済ませました。しかし、決してこれで十分とは考えず、危機管理の基本である「最悪を想定して」災害のための物資の充実だけでなく、知識や経験を蓄え、安全で安心できる学校を目指していきたいと思えます。



### ～ 総合防災訓練の報告～

令和元年度は、避難訓練、防災教育講演会、情報伝達訓練、引渡訓練（山崎校舎）を総じて総合防災訓練としています。防災教育講演会は本校舎で実施し、講師に一般社団法人防災教育普及協会の宮崎賢哉氏をお招きしました。班分けをしてコンペティションスタイルで段ボールトイレや避難エリアを作り、多数の保護者の方々を含め35名の参加者による活発な会となりました。本校舎の避難訓練は、現実的な場面を想定し、野津田高校の駐車場に避難しています。今回は地震とその直後に火災が起きた想定で素早く避難を完了することができました。今後は「まず身を守る選択」を各自ができることを評価の要点にする大切さが挙げられました。情報伝達訓練は、前回の調査によりtwitterの有効さが評価されていたため、今回も4つの方法（twitter、伝言ダイヤル171、伝言板WEB171、マチコミメール）を使用しました。山崎校舎では、午前中に地震の避難訓練を実施し「関東大震災」について話し、児童・生徒も真剣に聞いていました。午後の引渡訓練も確実な引渡しができました。交通混乱やインフラ遮断など、実際の場面を想定し対応等、御相談いただければと思います。



←差し込み便器式の工夫（講師の先生からも着眼点の秀逸さを評価されました。）



←パーソナルスペースを確保する工夫



←ビニール袋を使った炊飯



←山崎校舎での訓練の様子

### ～日本の伝統文化の取組（B部門高等部）～

今年度より高等部1年生の正規授業として「日本の伝統と文化」がスタートしました。

昨今、世界からの注目度も高い日本の伝統文化ですが、その豊かな文化をどのように生徒たちに伝えようかと、担当、学年一同試行錯誤しながら取り組んでいます。

でも、まずは地域の伝統と文化から！！

野津田公園の自然観察や小野路里山交流館の見学から始まり、伝承民話、小野路宿を通る絹の道の歴史、そこに根差す桑畑の現在の様子を学習しました。そして、現存する桑を使つての桑和紙を繊維をとる作業から行い、「桑和紙灯籠」を学年全員で制作しました。灯籠は、7月の里山交流館祭り、9月の小野神社例大祭で展示していただき、会場を盛り上げました。里山交流館の館長さんをはじめとする地域の方が灯籠を竿灯（かんとう）に仕立ててくださり、地域交流のきっかけにもなりました。

この後、2学期には折り紙作家とわら細工名人に御指導いただいたり、3学期には世界的に活躍している書道家の金澤翔子さんをお招きして席上揮毫（せきじょうきごう）を御披露いただく予定です。

B高1年「日本の伝統と文化」担当 富士榮



## 【学校評価】御協力ありがとうございました

学校評価は、各校に設置されている「学校運営連絡協議会」が中心となり、毎年実施しています。メンバーは、本校管理職、PTA代表、外部有識者（地域関係者、大学教授、企業）、本校主幹教諭等で構成されています。

今年度、学校経営計画の柱の一つに「様々なニーズ対応の迅速化」があります。保護者の方のニーズ対応に迅速に取り組むため、学校評価を早め、6～7月に実施いたしました。御協力いただきありがとうございました。校内では課題に対応する改善に向け、検討を進めております。すぐに改善に取り組める事項については10月から取り組んでまいります。保護者の方からいただいた現時点での、今年度の学校評価における結果及び主な課題等を挙げさせていただきます。

### 1 保護者アンケートの回収率

68%（目標80%）でした。昨年度と比べると低くなりましたが、保護者の方の貴重な御意見を年度前半にいただくことができました。来年度以降も、保護者の方のニーズ対応に迅速に取り組むため、1学期にアンケートを取りますので、御協力よろしくお願いいたします。

### 2 学校生活について

90%以上の方から、「子供たちは、期待どおりの楽しい学校生活を送れている」と御回答をいただきました。2学期以降も児童・生徒が楽しい学校生活を送れるよう、教職員一同取り組んでまいります。

「学校生活への心配や不安について」、様々な御意見をいただきました。いただいた御意見は真摯に受け止め、検討・改善に取り組んでいきます。

### 3 人権への配慮について

昨年度との比率で、A・B評価ともに上昇しました。今後も、人権に配慮し、体罰・いじめ防止等に取り組んでいきます。

### 4 教職員の連携や情報共有について

教職員の連携や情報共有についての満足度は90%には届かず、御意見もたくさんいただきました。連携や情報共有は子供たちが安心した学校生活を送る上で必要不可欠なものです。校舎内での連携はもちろんのことではありますが、本校舎・山崎校舎間での連携もより進められるよう、ICT機器などを活用し、顔を合わせての情報交換などを行ってまいります。

※今後、進路先や実習先の企業と福祉施設等のアンケート、児童・生徒向けアンケート、児童・生徒からの評価委員による聞き取りを実施いたします。全てのアンケート結果などを分析・整理し、評価委員の方より提言をいただき、学校改善、次年度の学校経営計画に生かしたいと思っております。

御協力ありがとうございました。（担当主幹教諭 古村 武人）